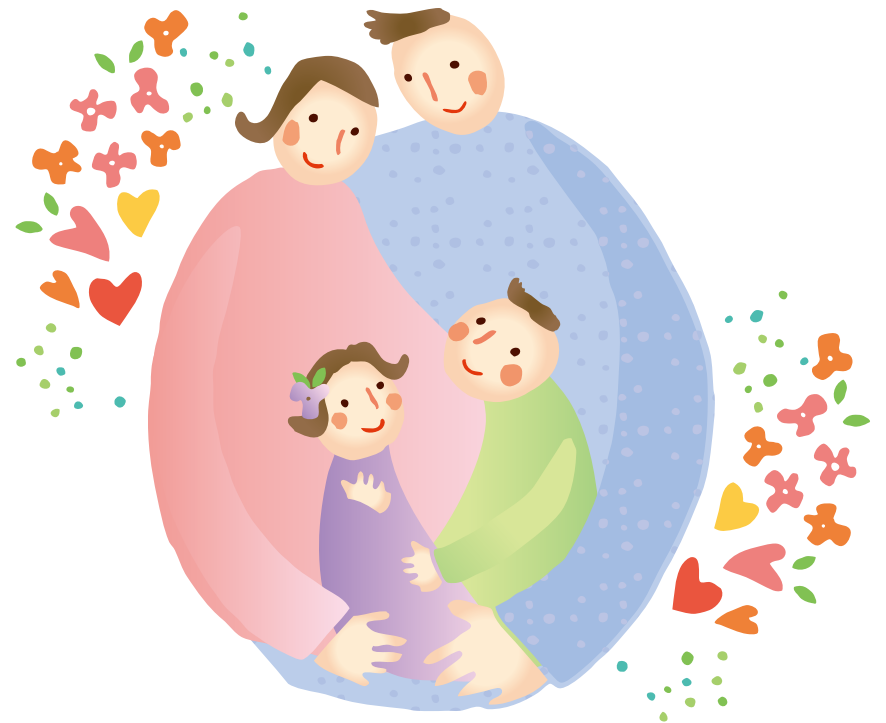


もう一度 家庭を見直そう

・・・子育ては「家庭」から・・・



山口県民生委員児童委員協議会
社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

**「自分の子だけ」良ければ良い
という考え方をやめましょう。**

うちの子 よその子 みんなうちの子 誉めるも 叱るもいっしょ。
「自分の子だけ良ければ良い」(いわゆる「自子主義」というような
親の考え方が、思いやりの心、正義感や社会のルールを守る心をはぐくむ上で、悪い影響を与えています。(大人になっても続く)

**思春期の子どもから「逃げず」
正面から向き合しましょう。**

子どもの気持ちをしっかり聞いて、親として責任ある毅然とした態度でたじろがず、最初が カンジン。「普通の子」の「いきなり型」非行の前に、必ずある「サイン」を見逃さない。

人を思いやる心を育みましょう。

- 🍀 お年寄りを大切にする親の姿を見せましょう。
- 🍀 手助けの必要な人を思いやれるようにしましょう。
- 🍀 優しさのある「ことば」は人に「勇気と元気」をあたえます。
- 🍀 差別や偏見は、どんなことでも許されません。
- 🍀 自然や生き物とのふれ合いを通して、「命」の大切さを実感させましょう。

私はあなたのまちの民生委員 児童委員(主任児童委員)です。

氏名

連絡先

家庭のあり方を問い直しましょう。

- ❁ 思いやりのある「明るい円満な家庭」を作りましょう。子どもたちが真にそれを望んでいます。

朝の「おはよう」から「ありがとう」「ごめんなさい」「おやすみなさい」が素直に言い合える家族

- ❁ ひとり親家庭であっても「自信」をもって子育てしよう。

自信がもてないときは、民生委員・児童委員に相談を!

- ❁ 会話を増やし、家族の「きずな」を深めましょう。

食卓を囲み、たのしかったことやうれしかったことなどを家族のみんなで話してみましょう。

- ❁ 「過干渉」や「放任」になっていませんか。

子どもが自分で気づき、考える習慣をつくるためのアドバイスはしても、子どもが考える前に、すぐ言ったりやったり(介入)しないようにしましょう。

- ❁ 社会の一員になれるよう自立心を育てましょう。

- ❁ 子どもの「個性」を大切に、「未来への夢」を持たせましょう。

幼児期から子どもの相対的な順位にとらわれず、子どもの良いところをしっかりほめて、人間としての生き方やこれからの社会について語りかけ、子どもの将来の夢や希望を聴きましょう。(一点だけを見ない)

「家庭の役割」とは? 「学校の役割」とは? 「地域の役割」とは?
みんなで考えてみましょう。

悪いことは「悪い」としっかりしつけましょう。

最初が大切!

- ❁ 「してはいけないこと」や「間違っただけ」はしっかり正しましょう。

- ❁ 親自身が「自分さえよければ良いという考え方」をしないようにしましょう。

「ルールに“違反する”ことをしない。」といった当然のことを、自分の姿で示しましょう。

- ❁ 「善悪」の「区別」について、「しつけ」を幼少のころから行いましょう。

- ❁ 悪い「行い」があれば、すぐに正しましょう。

物心付かないうちは根気強く、言葉が理解できるようになれば、理由を「はっきり」言って叱ろう。日ごろの温かい愛情の「きずな」と「信頼関係」を大切にしましょう。

- ❁ その場の「気分」や「感情」に流されず、たえず「一貫性」をもって叱りましょう。

叱った後は、しっかり愛情をもって抱きしめてあげましょう。

自分の行いには、「責任」があるということに気づかせましょう。

自分の役割を果たしながら一歩ずつ成長していく姿を見守りましょう。

- ❁ 「後片付けをきちんと」させましょう。

- ❁ 「家事」を手伝わせましょう。

- ❁ 異なる年齢の子どもたちとの「遊び」や「地域の活動」を体験させましょう。